

2021年4月6日 13:15~
管理・福利棟4階第1会議室
+ オンライン会議併用

『ユニット構築会議/ 学術実験プラットフォーム検討会議』 (第1回)

1. はじめに (所長)
2. ユニット準備室について (坂本)
3. 学術実験プラットフォーム検討チームについて (永岡)
4. 今後の進め方について (ブレインストーミング)
5. 次回予定：2021年4月12日 (月) 13:15-15:00

毎週月曜日13:15-15:00 定例開催

ユニットと学術実験プラットフォーム

❖ ユニット

- ▶ 「**ユニット**」は**学術研究の単位組織**であり、それぞれのユニットが掲げる「ユニットテーマ」は、私たちが自ら定義する核融合科学の構成要素を表現するものになります。各ユニットは10人～20人程度の研究者で構成され、概ね10のユニットを編成したいと考えています。研究部の皆さんは、いずれかのユニットに属して研究活動を行うことになり、技術部の皆さんと管理部の皆さんに活動を支えていただきます。ユニットは所員全員の創意によって作りあげたいと考えています。そのために「**ユニット準備室**」をおきます。ユニット準備室の議論は、Zoomをつかって所内全体をつなぎ、全員参加で行ってゆきます。

❖ 学術実験プラットフォーム

- ▶ 「**プラットフォーム**」は**研究所のハード面の基盤**です。post LHDの時代に、核融合科学の中核研としてNIFSが備えるべき学術基盤とは何か、LHDのデコミッショニングに際して、その資産を最大限に未来に活かす学術戦略は何か、そしてNIFSの次世代プロジェクトはいかにあるべきか、これらの戦略を多角的に検討するために「**学術実験プラットフォーム検討チーム**」をおきます。検討チームはユニット準備室と十分連携して検討を進め、その議論はZoomをつかって所内全体に配信し、全員の意見を集めながら進めます。

ユニット準備室について

❖ 目的

- ▶ 2021年度限定の組織とし，2022年度の新体制構築に向けて，研究活動のベースとなる研究ユニット構築を支援する

❖ ユニット準備室の役割

- ▶ **ユニット構築支援**
- ▶ **ユニット構築会議（毎週月曜日13:15 - 15:00）** ← この会議
- ▶ **情報収集と共有**
 - 定期会合や個別の議論
 - 共同研究や外部の先生方からのインプット
 - 競争的資金の調査（戦略室？）
- ▶ **情報公開**
 - 会議資料や議事メモは，共同研究者限定ページ内のWebページにて公開

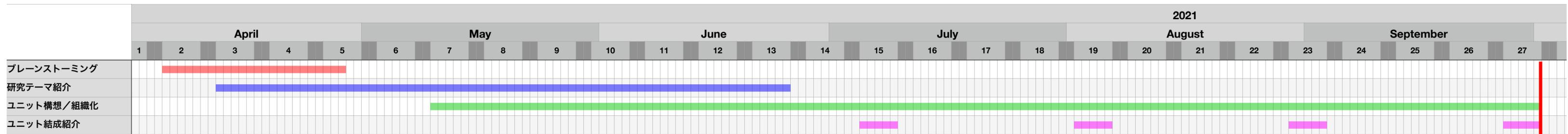
❖ スタッフ

- ▶ 坂本隆一，永岡賢一，徳沢季彦，今川信作，田中照也，仲田資季，伊藤篤史

ユニット基本構想

- ❖ **ユニットは共通の学術課題に取り組む研究者の集合であり，研究者の本籍地となる**
- ❖ **ユニットはプロジェクト運営の分業単位ではなく自律して活動し，学術的にも予算的にも独立性が高いものとする**
- ❖ **ユニットの連合体が核融合研であり，ユニットが掲げる研究テーマの集合体が核融合研が目指す学理となる**
 - 研究テーマは核融合分野外の人にも説明できるように設定する
- ❖ **研究所全体をシャッフルしてユニットを構成する**
 - 形式的にも予算的にも多種多様とする
 - パッケージ型ユニット：共通の研究テーマに取り組むために，実験，理論，シミュレーション等，様々なスペシャリティを持つ人から構成されるユニット
 - メソッド型ユニット：共通の研究手法を様々な研究テーマに応用するユニット
- ❖ **ユニットには大学などNIFS外部からの積極的な参加を求める**
 - 共同研究などを通して，コミュニティからのインプット
- ❖ **ユニットは研究テーマを前面に掲げ，装置に依存しないものとする**
 - LHDの後，次期装置が無くても取り組む研究テーマが見えるようにする
 - 研究を進める手段として装置計画を定義する．LHDも然り
 - ユニット独自の装置計画，複数のユニットが協力して大きな装置計画を実施することも想定できる
 - ➔ 学術実験プラットフォーム検討チーム
- ❖ **ユニット制は2022年度からスタートする**

ユニット構築の全体スケジュール



❖ スケジュール

- ▶ **ブレインストーミング**：4月
 - ユニット制の説明と意見収集
- ▶ **研究テーマ紹介**：4月 - 6月
 - 必要と考えている研究テーマの紹介やユニットの構想を所内外を問わず発表して意見交換
- ▶ **ユニット構想/組織化**：5月 - 9月
 - **構想**
 - ・ ユニット構想の紹介と意見交換, 勧誘
 - ・ 研究テーマの重複の調整
 - ・ 大規模実験装置を想定したユニット間の調整
 - ➔ **学術プラットフォーム検討チーム**へ展開
 - **組織化**
 - ・ 研究テーマ, 人員, 研究方法, 予算プランの検討

- ▶ **ユニット結成紹介**：7月 - 9月
 - 大枠が決まったユニットから順次, ユニット構成を紹介し, 相互に承認する
- ▶ **9月最終週までに, ユニット陣容の決定**

❖ 境界条件

- ▶ 2022年度からユニット体制へ移行するために, **9月末を目処にユニットの概要を策定**
- ▶ これまでの組織構造にとらわれず, ユニット基本構想に合致する研究ユニットを, **ボトムアップで構築**

ユニット構築の進め方

1. ユニットの理念を共有するフェーズ

2. 研究テーマを広く共有するフェーズ

- ▶ アンケートや会議発表
 - 個人が取り組んでいる研究, 今後取り組みたい研究
 - 核融合研がこれからの核融合研究としてやるべき研究
- ▶ コミュニティからのインプット

3. 人と繋がり新たな研究テーマを探すフェーズ

4. ユニットを構想し, 組織化するフェーズ

- ▶ 学術コミュニティからの意見
 - アドバイザリーボードとのインタラクティブな議論

5. ユニットの結成